

平成28年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	国際会議開催に必要な経費			担当部局庁	内閣府政策統括官(沖縄政策担当)			作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	総括担当 参事官室			参事官 吉住 啓作	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法			関係する計画、通知等	沖縄振興基本計画(平成24年5月 内閣総理大臣決定)				
主要政策・施策	沖縄振興、地方創生			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄において、サイバーセキュリティに関する国際会議を開催し、各国の有名な政治家、経営者、研究者等を沖縄へ招待して沖縄の魅力を周知・広報することにより、今後の沖縄振興へつなげることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①国際会議へ海外の参加者(有名な政治家、経営者、研究者等)の招へいを行うこと ②国際会議の開催及び成果の広報を海外メディアを使いながら広く行うこと ③国際会議の運営を行うこと								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	354	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	354	0	0		
	執行額	-	-	242	-	-			
	執行率(%)	-	-	68%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 27 年度
	会議開催にあたり各国の有名な政治家、経営者、研究者等200人程度の参加を確保し、沖縄の魅力を周知・広報することにより、今後の沖縄振興への寄与を図る。	国際会議に参加する各国の有力な政治家(閣僚級等)、著名な経営者、影響力のある研究者等の総人数	成果実績	人	-	-	411	-	411
			目標値	人	-	-	200	-	200
			達成度	%	-	-	206	-	206
横断的な施策に係る成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	目標・指標	-	成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
達成度	%	-	-	-	-	-	-		
-	関係	算出方法							
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	各国の有名な政治家、経営者、研究者等200人程度の参加を確保した国際会議の実施	活動実績	会議の実施	-	-	1	-	-	
		当初見込み	会議の実施	-	-	1	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	執行額/実施回数	単位当たりコスト	百万円	-	-	242	-	-	
		計算式	執行額/実施回数	-	-	242/1	-	-	

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	沖縄振興開発調査委託費	-	-	平成27年度限りの経費
計	0	0		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策												
		施策											
	政策評価	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
					実績値	-	-	-	-	-			
					目標値	-	-	-	-	-			
			定性的指標		目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)						
					-	-	施策の進捗状況(実績)						
	改革項目	分野:	-										
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-					
			目標値	-	-	-	-	-					
			達成度	%	-	-	-	-					
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度				
				成果実績	-	-	-	-	-				
			目標値	-	-	-	-	-					
			達成度	%	-	-	-	-					
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													
-													

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	内閣府は、アジアのゲートウェイとしてのメリットを生かした振興策を行っており、国際的に注目を集めることは沖縄振興に役立つものである。会議開催を通じて世界各国の官民の著名人を通じて、沖縄の魅力を世界に広く発信する。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	沖縄の魅力を世界に発信することは、今後の沖縄振興にとって重要な課題であり、沖縄振興法に基づいた国の責務の一環として取り組む必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	会議を開催し沖縄のアジアのゲートウェイとしてのメリットを世界に発信し高めることは、沖縄振興をするうえで、必要不可欠で重要な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札(総合評価)により委託業者を決定し、競争性を確保している。選定の際には、複数の業者から入札があった。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となつたものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となつたものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	過去行われた他の国際会議開催費用と比較しても水準以下であり妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	会議開催に必要な運営費だけを計上している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	一般競争入札(総合評価)により委託業者を決定し、競争性を確保するとともに、効率的な執行に努めた。
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	会議の運営に必要な備品等については、業者と調整の上、最小限とし経費の削減に努めた。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	当初の成果目標以上の成果実績を上げることができた。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初の見込み通り会議を開催することが出来た。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	平成27年11月7日～8日に開催された国際会議「Cyber ³ Conference Okinawa 2015」には国内外から400名を超えるサイバーセキュリティ・IT関連の政府関係者、企業役員、大学教授等が参加し、「サイバーコネクション」、「サイバーセキュリティ」、「サイバークライム」の3つのトラックを実施し、我が国にとって重要課題であるサイバーセキュリティの現状と課題、官民を越えた国際協力の重要性等について、活発な議論が行われた。さらに、多くのメディアや著名人のSNS等でも参加し会議の様子が大きく取り上げられた。また、参加した国内外の有識者に対して、日本、特に沖縄の魅力が伝わるようなプログラムを開催し、参加者の方々に沖縄の魅力を肌で感じていただく機会となった。 予算執行に関しては、総合評価入札を行い、競争性を確保して契約を行い、契約後も適切に予算を執行した。	
	改善の方向性	(平成27年度単年度事業)	
外部有識者の所見			
サイバーセキュリティに関する国際会議を、沖縄で開催する理由の説明が不足しているように思われる。			
行政事業レビュー推進チームの所見			
終了予定	予算額に対して執行率68%、アウトカム指標についても達成度206%の効果を得ているものの、本件に関する当初予算額の積算時において、より一層の精査が必要だったと思われる。 本件の概算要求及び執行で得たノウハウを今後も他の事業に引き続き活かすべきであり、さらに本件で得た成果及びノウハウについては、内閣府内部でもひろく関連する部局に情報を共有するなど活用されたい。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
予定通り終了	今後同様の国際会議を行う際には、予算額の積算について実績を踏まえより一層精査を行うとともに、執行にあたっては効果的・効率的な実施に努める。		
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新27-0003

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣府
354百万円

〔 事業の企画・運営等 〕

↓

委託【総合評価入札】

A. 株式会社 電通
242百万円

〔 「沖縄における国際会議の企画・運営支援業務」の実施 〕

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	会議基本計画、実施計画策定、プログラム策定等	65				
直接経費	旅費、資料製本、会場借料、旅券手配	156				
その他	一般管理費	21				
計		242		計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1 株式会社 電通	4010401048922	「沖縄における国際会議の企画・運営支援業務」の実施	242	総合評価入札	3	-	落札率は予定価格が類推されるおそれがあることから未記載

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載 チェック